

岩手県災害時学校支援チーム「D-ESTいわて」について (岩手県)

1. チームの概要

岩手県では、**東日本大震災津波等の経験や教訓**を生かし、県内外で大規模災害等が発生した際に学校教育の早期再開を支援し、子どもたちの学びの場を確保するため、令和8年1月に、県内公立学校教職員等で構成する「**岩手県災害時学校支援チーム『D-ESTいわて』**」を設置。(令和7年度末時点でチーム員は68名)

災害時の学校運営に関する専門的知識や実践的な対応力を備えるチーム員育成のため、復興教育・防災教育の豊富な実務経験及び知見を有する有識者(岩手県立図書館長兼岩手大学地域防災研究センター客員教授)をアドバイザーに迎えている。



2. 組織構成

※ 運営委員会・・・県教育委員会事務局各部署、アドバイザーで構成

岩手県災害時学校支援チーム「D-ESTいわて」運営委員会(岩手県教育委員会事務局 教育企画室)

- ・研修の企画、運営
- ・災害時の被害状況のとりまとめ及び災害時の予算管理、学校施設判定
- ・派遣に伴う連絡調整
- ・チーム員の班編成、サービス等の調整
- ・学校安全・衛生や給食再開に係る助言
- ・推進委員会の開催
- ・ハンドブックの更新
- 等

岩手県災害時学校支援チーム「D-ESTいわて」チーム員

〈構成員〉

- ・県内公立学校の教職員(主幹教諭、教諭、養護教諭、栄養教諭、事務職員、実習助手) ※ 管理職になると解嘱
- ・県教育機関の事務職員

3. チーム員の養成方法、活動内容

(1) 養成方法:養成研修の実施(全2回) ★ 近年の災害時の対応経験を有する支援チーム先行設置県に講師派遣の御協力をいただいた。

1回目(講義)・・・ ① 教職員による学校支援の意義 ② 東日本大震災からの教訓 ③ 災害時の学校支援について

★ 遠方公所の職員の受講負担を考慮し、オンライン併催。

2回目(講義・演習)・・・ ① 被災した学校への支援について ② 児童生徒への支援、心のケアについて

(2) 活動内容

平時: 東日本大震災津波等の教訓継承、本県独自の取組「いわての復興教育」の充実、各学校や地域における危機管理体制整備の中核的役割、防災教育の中核

発災時(学校再開前): 教室等の学習環境・備品等の整理、オンライン授業に向けた通信環境の整備、避難所が設置されている場合の校内ルール作成等

学校再開後: 授業支援、児童生徒の心のケア、特別支援を要する児童生徒の支援、学用品の調達、学校事務の支援等

4. 今後の展開

- ・他都道府県の経験からの学びによる機能強化
- ・他都道府県との情報共有、連携による機能強化
- ・派遣に係るチーム体制の調整・最適化
- ・研修を継続することによる支援チームの拡充、機能強化
- 新規養成研修を継続しR9までに120名程度のチーム規模を目標
- 2年目以降のチーム員を対象にスキルアップ研修を実施